

ノヤマ通信

vol.9 (2023.如月)



森のようちえんヒュッテ

【1月の活動場所：12日山の基地、16日宇和運動公園、19日山の基地、26日路面凍結でお休み、30日桂川溪谷】

●1月はのんびりと12日からのスタートでした。雪の影響などもあって、活動の回数は少なめでしたが、たこを作ったり、キウイでジャムを作ったりといろいろな活動ができました。



●活動を見つめるコラム

「同じ場所で遊びを重ねる」

1月、2月の森のようちえんは、毎週木曜日に山の基地で活動するように計画しました。冷え込みが厳しいこの時期は、暖を取るためにたき火🔥をしたり、寒さをしのげる場所があったりするところをフィールドに選びたいくなります。そうした条件を満たすのが、山の基地なんです。

同じ場所で続けて活動することのメリットは、遊びのつながりが生まれること。たこを作った翌週に、前回作ったたこを持ってきてたこ揚げをして遊ぶ、という風に子どもの中で「前の遊びの続きをしよう」という考えが生まれ、そこから遊びが深まることもあります。

大人からすると、同じ場所だと「毎回同じような遊びばかりだな～、違う遊びもしようよ～」と思うこともあるかもしれませんが、一緒に遊ぶメンバーが違ったり、微妙に遊び方が変わったりすることで、子どもが体験していることはその都度、新しい要素があるはずです。同じ場所で遊びを重ねるプロセスを、ぜひじっくり観察して楽しんでください。
。😊



▲1/19 森のようちえん@山の基地（キウイのジャム作り）

🧤🧤 山の基地

【1月に行った活動：8日開放日、22日イベントDAY（かんなどお箸づくり）】

●8日は比較的暖かく、子どもたちがデッキで日なたぼっこをしながらお弁当を食べる姿が見られました。



●22日のイベントDAYは、かんなど木を削ってお箸をつくる木工体験をしました。小さな子には少し難しかったかもしれませんが、手仕事は大人もハマる要素があり楽しいので、また何か企画したいと思っています。



●山小屋に動物が侵入した形跡があったので、自動撮影カメラを仕掛けたら、犯人はテンでした。よく調べると柱に登った爪あとがチラホラ。屋根の下に隙間があったので、そこから入ったようです。隙間を板でふさいでからは、侵入されなくなりました👌。



●キウイの剪定をちまちまと進めています。下の方はだいぶすっきりしてきました😊。見晴らしがよくなってくるとここで子どもたちと遊ぶイメージもわいてきて、わくわくしています。



●キッズハウスの屋根の上に登りやすくするため、ブリッジをつけました。ただし、雨や雪が降ると屋根の上はすべりやすくなるので注意してくださいね～。



✿✿ その他の活動

●1/5移住体験ツアーの対応

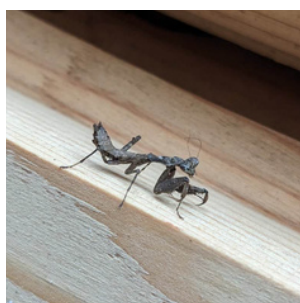
東京から愛媛への移住を検討されているファミリーが来られ、山の基地でたき火をしながら西予での暮らしについてお話ししました。

●ジオパークのフリマガ「だいちのめ」の取材

最新号の作成に向けて、絶賛取材中です📝。次号の特集では、地面を掘る様々なお仕事の方（ボーリング調査を行う会社、市役所で遺跡の発掘に関わる方、土の研究者など）にお話を聞いています。近頃はインターネットを通じてパソコンの画面越しに取材が可能になったので、天気にも左右されることがもなく、順調に取材ができています。

🌱 いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。



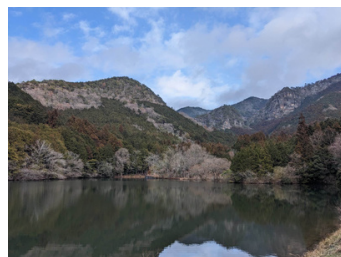
サツマヒメカマキリ

山の基地の小屋の前で見つけた小さなカマキリ。卵ではなく幼虫で越冬する珍しい種類です。枯れ葉などに隠れているようです。

🐣 よもやま話

・住んでいる部落内で、太陽光発電施設（ソーラーパネル）の建設計画が持ち上がっています。いわゆるメガソーラーほどの規模ではないのですが、場所が悪い😞。人工物が目に入らない、気持ちのいい風景が広がる場所なんです（右下の写真）。

太陽光発電は、化石燃料を使わず太陽の恵みを生かしたエコな発電方法と考える人が多いようですが、設置する場所によっては、景観や環境の破壊につな



がることもあります。現在、部落として反対してもらえないか地域の有志で話し合いを進めています。自分たちにとって身近な大切な風景を守るために何ができるのか、考える日々です。（ゆ）

・つい最近、三女がままごとをしながら「チュ🐣かわいくてご・め・ん！生まれてきちゃってごめん！チュ🐣あざとくてご・め・ん！」と歌っていました。実生活でもかわいさやあざとさを振りまかれておりますので、色々な感情が込み上げてきました笑（ち）

・「子育てで大切にしていることは何ですか？」と聞かれることがあります。食事や生活習慣、心など…。いろんなことが頭をよぎった後に、熊谷晋一郎（小児科医）さんの言葉「**自立とは、依存先を増やすこと**」を思い出します。脳性マヒの障害とともに社会を見つめられてきた中で発せられた言葉ですが、子育ても同じだなあと感じます。

森のようちえんやノヤマカンパニーの活動でも、いろんな方に参加してもらって、参加者同士で子どもたちを見守りながら運営しています。そして、時には地域の人に来てもらったり、会いに出かけて行ったりしています。「自立」とは依存しなくなることだと思われがちだけど、小さな依存先・関わり合いみたいなものを増やしていくことなのかもしれないと思うようになって、子育てでだけでなく、私自身も生きていくことが楽になったように感じています。私たちは地域や学校、趣味の活動など、暮らしの中でもいろいろなコミュニティに属していますが、ノヤマカンパニーの活動も健やかに過ごせる場所として続けていけるといいなあと考えています。みなさん、いつもありがとうございます😊（ち）

<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉ noyama.company@gmail.com